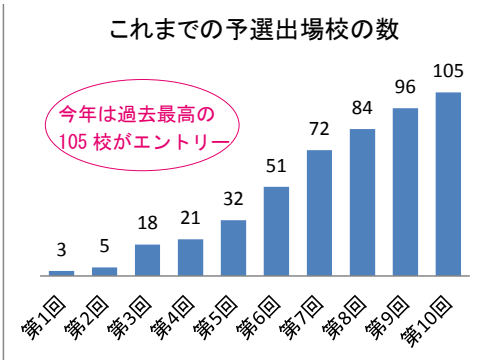




第10回記念大会
ポスター



第1回大会に出場した
藤枝 愛紗美さん
(当時:三島高校2年生)



第1回大会開会式の様子



第1回大会から司会を務める やのひろみさんからのコメント
(選手たちの泣き笑いをいつも一番近くで見守り続けて来ています)

10年前、商店街の三叉路にたった3校。小さな椅子が車座に囲み、審査員席は軽トラの荷台でした。でもあの瞬間の感動は今でも鮮明に憶えています。選手の鍛錬はもちろん、それを支え続ける大勢の裏方の尽力なくして今日はありません。選手の爆発的な喜怒哀楽が筆にのり、その一挙手一投足が観客の心を揺さぶる。今年も、みずみずしい高校生に会えるのが楽しみです。

書道パフォーマンス甲子園

歴代大会ポスター
第1回〜9回

はじまりはたった3校。あれから10年…

平成20年7月27日(日)川之江駅通り商店街特設会場にて、第1回書道パフォーマンス甲子園が開催されました。第1回大会は「紙まつり」と一緒に開催され、出場校は地元の三島高校、大分県の大分高校、広島県の五日市高校の3校のみでした。三島高校が記念すべき第1回の優勝校となりました。今年第10回記念大会を迎える書道パフォーマンス甲子園。37都府県から105校が出場する全国規模の大会となりました。

第1回に出場した人や大会を陰で支える人にお話を伺いました。

第1回大会で印象に残っていることは？
とても暑かったという記憶があります。



当時の藤枝さん

他校のパフォーマンスを見るのも初めてだったので刺激を受けました。優勝するとは思っていませんでしたが、順位をつけられることも初めてだったので、いつもとは違う緊張感がありました。

出場したことで自分に何か影響はありましたか？

一つの作品を作るとなるとチームワークも必要で、良いものを作り上げるためには意見の衝突もありました。また見ている人を楽しんでもらうために表現力を身に付けたり、いろんな部分の成長につながったと思います。

後輩に伝えたいことは？

紙の支援など、この地域ならではの恵まれた環境で書道ができることに感謝し高校を卒業しても地域の書道活動に携わって欲しいですね。



第1回大会から運営に携わっている
尾藤 淳一さん
(現在:書道パフォーマンス甲子園運営部会員)

大会に関わったきっかけは？

紙まつり実行委員としておまつり広場の設営を担当していた関係で、書道パフォーマンスもお手伝いすることになりました。それから毎年関わるようになりました。

選手の身近にいて感じることは？

全国レベルの大会はほかにないので、そこに出場しているという誇りを選手たちは持つていて、運動部並みの熱気を感じることが出来ます。

今後どのような大会に？

いろんな場所で書道パフォーマンスが行われている中、この大会を四国中央市で行うのかの意義が今後問われてくると思います。施設の整備なども検討しながら、全国の書道部員が目指せるような大会にしていければいいと思います。

～刻んだ日々 我らの証を一筆に込めて～

第10回記念大会 書道パフォーマンス甲子園

■とき 8月6日(日) 9:30開会式
(9:00開場)

■ところ 伊予三島運動公園体育館
(中之庄町1665-1)

書道パフォーマンス甲子園実行委員会
事務局(文化振興課内)
28-6037
info@shodo-performance.jp

(昨年の優勝校:高松商業高等学校)

☆第10回大会記念企画

特別記念枠の創設

本大会が始まったきっかけである「書道パフォーマンスを通じてまちを元気にしたい」という想いに立ち返り、昨年の熊本地震の被災地で、まちの復興のために書道パフォーマンスに取り組む、熊本県立御船高等学校(上益城郡御船町)を特別記念枠として招待します。



【御船高等学校 書道部】

この度は、記念枠に選んでいただきありがとうございます。私たちは、日々「書いて書いて書きまくれ!」をモットーに活動しています。さて、熊本地震から1年数か月が経ちましたが、震災時は全国の方々に温かい支援をいただきました。本当にありがとうございました。現在もその余波は残っていますが、大会では熊本の元氣と感謝の思いを全国のみなさんに届けたいと思います。

記念イベント「高校生による食のおもてなしコンテスト」の開催

大会当日、会場外にて、高校生によるご当地グルメコンテストを開催します。

高校生による食を通じたおもてなしをすることで、参加する生徒に郷土への愛着と地元特産品への理解を深めてもらい、地域の食文化を広く発信するとともに、大会を盛り上げてもらうものです。

水引優勝旗の贈呈

記念大会優勝校の栄誉を称え、今大会の優勝校へ、第1回から使用され歴代の優勝校に引き継がれてきた優勝旗を贈呈します。



(昨年の表彰式の様子)

☆第10回記念大会本戦出場校 (ブロック枠選出20校、特別枠1校)

校名	所在地	出場歴
青森県立八戸東高等学校	青森県	3年連続4回目
秋田県立大曲高等学校	秋田県	4年連続4回目
本庄第一高等学校	埼玉県	2年ぶり3回目
本庄東高等学校	埼玉県	初出場
中央学院高等学校	千葉県	2年連続2回目
佼成学園女子中学高等学校	東京都	4年連続5回目
長野県松本蟻ヶ崎高等学校	長野県	3年連続4回目
愛知県立愛知商業高等学校	愛知県	2年連続2回目
立命館宇治高等学校	京都府	初出場
上宮高等学校	大阪府	5年連続5回目
兵庫県立兵庫高等学校	兵庫県	初出場

校名	所在地	出場歴
鳥取県立鳥取東高等学校	鳥取県	2年ぶり7回目
鳥取県立八頭高等学校	鳥取県	4年ぶり4回目
岡山県立岡山東商業高等学校	岡山県	初出場
香川県立高松高等学校	香川県	初出場
香川県立高松商業高等学校	香川県	6年連続6回目
香川県立高松西高等学校	香川県	2年ぶり4回目
愛媛県立西条高等学校	愛媛県	3年連続3回目
福岡県立八幡中央高等学校	福岡県	8年連続8回目
長崎県立上五島高等学校	長崎県	2年連続2回目
熊本県立御船高等学校	熊本県	初出場

※北から都府県順で記載しています